

2015 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科目区分名	表象文化学部 共通科目
-------	-------------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

この科目群は、英語英文学科・日本語日文学科の両学科を統合し、新たな理念のもとに発足した表象文化学部の新機軸であり、また基幹となるべきものである。そこで今回も昨年度のアンケート結果と比較して報告したい。

今回は前年度よりすべての項目について数値が上がっており、改善が見られたといえる。特に③「知的好奇心の刺激」が4.14（全学4.05）、⑤「話し方の聞き取りやすさ」が4.20（全学4.11）、⑥「授業の工夫」が4.17（全学4.07）、⑦「シラバスとの合致」が4.36（全学4.25）と高く、この数値が正しければ教員側の努力が数値に反映していることになる。

しかし、②「意欲的に取り組んだ」は4.03（全学4.13）、④「授業外学習時間」が0.47（全学0.69）と低く、学生側の授業に臨む態度・意識には問題があることが分かる。

また科目による数値の差が大きいのも事実で、「メディアと表象文化」「英語で案内する京都Ⅰ」「外国語教育論Ⅰ」などの科目は数値が高かったが、「文学と表象A」「京ことば」「英語で読む日本文学」は低くなっている。

一回ごとのアンケート結果のみならず、蓄積されている結果を蓄積し、継続して数値が目立って低い一部の科目については、その根本的な原因究明が必要となろう。